

平成24年度 第4回事業仕分け委員会 議事録要旨

日 時	平成24年10月15日（月）午後3時30分～4時10分	
場 所	市役所 本庁舎 第10会議室	
出席者	委 員	杉浦光子副委員長、小笠原豊子委員、河合宏人委員、加藤勝美委員、上向宣明委員、深津茂樹委員、横山嘉宏委員
	事務局	市長、新井副市長、企画部長、行革・政策監、経営管理課長、経営管理係長、経営管理係担当
次 第	1 市民憲章唱和 2 あいさつ 3 議題 平成24年度事業仕分け結果に対する取組方針（案）への意見書について 4 意見書提出 5 その他	

1 市民憲章唱和

2 あいさつ

（1）杉浦副委員長あいさつ

皆様、お忙しい中お集まりいただきまことにありがとうございます。

本来ならば、荒井委員長がごあいさつするところですが、所用により欠席でございますので、代理でごあいさつ申し上げます。

皆様におかれましては、5月の事業選定から7月の事業仕分け、そして9月の取組方針案の審議まで、熱心なご議論をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、最後の事業仕分け委員会ということで、前回の委員会で皆様からいただいたご意見をまとめ、市長へ提出する予定でございます。

当委員会の活動が、本市において、事業の積極的な見直しや改善につながり、持続可能な行政経営が図られるための一助となれば幸いです。

また、皆さま方には、後ほど市長の前で、今年度の事業仕分け全般についてご発言をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

（2）新井副市長あいさつ

本日は、お忙しい中お集まりいただきまことにありがとうございます。

皆様方には、4回にもわたり、事業の選定から取組方針の審議まで、それぞれのお立場で貴重なご意見をいただきました。

事業仕分けは、どのような事業を選定するか、対象事業の選定と事業仕分けの結果を踏まえて、どのように改善していくのかということが一番重要な部分だと思っております。

皆様方にはその肝になる部分に関わっていただき、意見書という形で、市にその思いを提出頂くこととなります。

市としましては、前向きに事業と向き合い、見直しを進めてきたいと思っております。

本日は、最後の委員会となります。後ほど、市長からもお礼のあいさつをさせていただくと思いますが、私からも、皆様方の1年間のご尽力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

3 議題

(杉浦委員長)

早速ですが、これより議題に入らせていただきます。

本日の議題は「平成24年度事業仕分け結果に対する取組方針（案）への意見書について」であります。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

意見書案につきましては、9月19日に開催しました第3回委員会の皆様のご意見をもとに取りまとめさせていただき、荒井委員長にも確認いただいたものが、意見書案でございます。

10月5日付けで意見書案を皆様に事前送付させていただき、内容に対して特にご意見はございませんでした。

内容でございますが、1ページをご覧くださいますと、市長あてに委員会としての前書きを記載しています。

2ページから8ページまでが「個別事業ごと取組方針案に対する意見」でございます。例えば、3ページの事業番号4「プラネタリウム投映事業」をご覧ください。こちらは、判定結果が「ゼロベースで見直し」で、市の取組の方向性も「ゼロベースで見直し」です。「委員会の意見」の欄には、「E モニターなどによるアンケート

などの意見をもとに、外部の方を交えた検討委員会などにより存続の是非を検討いただきたい。」という内容を挙げさせていただきました。

他の事業におきましても、同様に、皆様からのご意見を乗せさせていただきました。時間の都合もございますので、省略させていただきます。

7ページをご覧くださいますと、「取組方針全般に対する意見について」ということで2項目を記載しています。

スピード感を持って取り組んでほしいという点と、中長期的な見直しをするものについては、後年度においても検証できるように検証方法を明確にしてほしいという点を掲載させていただきました。

説明は、以上でございます。

(杉浦副委員長)

それでは、事務局から説明がありました。事前に送付いただいて内容を確認しているものですが、再度この場で、ご意見、ご質問等がありますでしょうか。

(意見なし)

(杉浦副委員長)

委員いかがでしょうか。

(委員)

前回の委員会での意見書にまとまっていると思いますので、異論はありません。

(杉浦副委員長)

それでは、意見書案につきましては、これをもって事業仕分け委員会の意見書としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(杉浦副委員長)

ご審議ありがとうございました。以上です。

(経営管理課長)

ありがとうございました。

それでは、只今から意見書を安城市長へ提出いただきますが、市長が参るまで、しばらくお待ちください。

(市長入室)

4 意見書提出

(経営管理課長)

平成24年度事業仕分け結果に対する取組方針案への意見書ができましたので、杉浦副委員長より提出をお願いします。

(杉浦副委員長)

事業仕分け結果に対する市の方針案を審議し、委員会の意見として提出いたします。市長には、この意見書の内容を踏まえ、事業の見直し、改善に積極的に取り組むとともに、持続可能な行政経営が図られるよう、事業仕分けの成果を活かしていただくようお願いいたします。

(杉浦副委員長から市長へ意見書の提出)

(経営管理課長)

市長より、お礼の言葉を申し上げます。

(神谷市長)

皆様、改めましてこんにちは。本日は、第4回の事業仕分け委員会にお集まりいただきありがとうございます。只今、「平成24年度事業仕分け結果に対する取組方針（案）への意見書」を副委員長さんからいただきました。

各分野にてご活躍されている委員の皆様方におかれましては、大変ご多忙の中、事業仕分けの対象事業の選定から取組方針のチェックまでご協力いただき、意見書をまとめていただきまして、誠にありがとうございました。

事業仕分けにつきましては、各事務事業のあり方や改善点などを市民目線で見つめ直すため、昨年に引き続き、第2回目となる安城版の事業仕分けを実施いたしま

した。

今年度の新たな取組として、仕分け当日の議論を明確にするために、仕分け人の方にご足労いただきまして、各事業の論点の整理を行いました。併せて、仕分け人、市民判定人の方に対象事業の実情のイメージを把握いただくために関連施設の見学をしていただきました。

私も2日間、市職員と仕分け人との熱気あふれる議論を聞かせていただきました。仕分け人の方からは、大変厳しいご意見をいただき、傍聴の方には説明が不足している部分もありましたが、職員も精一杯公開の場で説明をさせておりまして、至らぬ点があれば、お詫びを申し上げたいと思います。

このような場で説明責任を果たすことを通じて、自らの仕事の課題を前例踏襲という形だけでなく、自ら考えて進めていくということが重要であるということを再認識するよい機会になったのではないかと考えております。

その課題への取組方針に対して、委員会からのご意見を謙虚に受け止めて、厳しい時代に合致した行政運営に心がけてまいりたいと思っております。

委員の皆様には、今後とも市政に対して、いろんな面からご意見、ご支援を賜りますようお願いいたします。どうもありがとうございました。

(経営管理課長)

委員の皆様には、5月から事業選定はじめ長い間お付き合いいただきましてありがとうございました。今回最後になりますので、本市の事業仕分け全般についてのご意見、ご感想をお一人ずつお願いできますでしょうか。

(委員1)

今年、施設見学を行われたという改善点は素晴らしいと思えました。知らずして意見を言うということを防ぐことができます。見ていただいた上で、いろんな視点があると、哲学的になるのですが、正反合ということばがあり、Aという見方と反Aという見方と意見を戦わせていくと、見えなかったものが見えてくるということです。多様な視点で広い柔軟的に改善改革が進んでいくといいなと思います。

(委員2)

安城市の事業仕分けは、市民参加型であるということが非常に評価できると思います。この手法によって行政と市民と信頼関係が生まれてくると思います。担当課

の方は、資料作りに大変苦勞があったと思います。資料作りの中で、反省点や今後の見通しを気づかれたと思いますので効果のある事業仕分けだったと思います。ひとつ注文ですが、当日のプレゼンテーションですが、少し物足りない部分がありまして、今後プレゼンテーションを学ばれる方たちには一層のプレゼンテーション能力をつけていただくといいと思います。最後に、事業仕分けに参加いただく機会を与えていただきまして、大変勉強になりました。今後は、市民として安城市の状況を見守っていきたいと思います。

(委員3)

今回、町内公民館の活動支援事業が対象になりまして、市民投票では、反対意見が多かったのですが、その人たちが町内会に加盟しているのか、町内会事業に参加しているかを設問に入れてもらって、町内会に入っていない人の意見を聞く必要はないと思っております。

(委員4)

初めて参加させていただきまして、事業仕分けをやるのはいいことだと思います。市が何をやっているのかをオープンにしているということで、外部の目を入れること自体が無駄とかなくなると思いますし、組織全体に緊張感が生まれるので、ぜひ続けていただきたいと思います。職員のみなさんは自身をもっていただければいいと思います。昔からやっている仕事を「何でやっているのか」といきなり言われるとろたえるものですが、改めて「何でやっているのか」を研鑽認識していただくことも必要だと思います。

(委員5)

私も初めて参加させていただきました。安城市がこんなことをやってるんだということを気づくことができました。大学4年ということで、来年の春から社会人になるのですが、安城市の公務員を考えて就職活動すればよかったなと思っています。面接をさせていただいたときに、若い視点を会議に持ち込みたいということと、自分自身の成長の場になれば発言させていただきました。非常に自由に発言させていただき、素人でも発言できる環境を作っていただいたことに感謝しています。事業仕分け一連の流れに参加できてよかったと思います。

(委員 6)

昨年は、若者の視点が私だったと思うのですが、今年は本当に若い方が入られたと思いました。私は、昨年に引き続き参加させていただきましたが、荒井委員長も言われていましたが、事業仕分け本番だけでなく、事業の選定やその後の意見を聞くという、仕分け委員会を別に作って行うという非常に最先端な方式だと伺っております。安城市も手間のかかる最先端の方式を取っていただいたということで、仕分けに対する意気込みが分かるような状況です。最終結論でもありましたが、スピード感をもって今後改善いただけたらと思います。仕分け後の対応が一番大切だと思いますので、市の取組を期待したいと思います。

(委員 7)

委員会に参加させていただきました。事業仕分けとはどうゆうものかだとか、市としてどのような住民サービスを行っているかというようなことを教えていただきました。残念ながら事業仕分け当日は、所要で見られませんでした。後で議事録を拝見しまして、真剣な議論をされているということにビックリもしましたし、感動もしました。参加された皆さんには、安城市を良くしていこうという姿勢が伝わってきました。今後とも安城市のため、安城市民のため頑張ってくださいと思います。個人的には、貴重な経験をさせていただきました、感謝いたします。ありがとうございました。

(経営管理課長)

皆様ありがとうございました。お褒めの言葉をいただきましたが、苦言もいただきまして、次回に反映すべきと、私どもも真摯に受け止めております。次年度も3年目ということで、一応実施を予定しております。今年のプロセスといたしまして、市民投票にもかけましたが、昨年に引き続き、低調でございました。事業の選び方については、委員からもご意見いただきましたけれども、少し考えなければいけないと思っております。新しい試みである、事前に論点整理を行ったわけですが、論点整理が活かされたかという点も疑問の点もありまして、仕分け後、論点整理に苦慮したということもありましたので、来年は分かりやすく、理解しやすい事業仕分けにしたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻いただきたいと思います。

それでは、最後になります「5 その他」につきまして、事務局より説明いたし

ます。

5 その他

(経営管理係長)

今後のスケジュールでございますが、ご提出いただいた意見書を踏まえまして、関係課が方針案の見直しを行います。最終方針につきましては、皆様にご案内するとともに、11月5日に記者発表する予定でございます。

また、委員の皆様の任期につきましては今年度内となっておりますが、事実上、今回をもって終了となります。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

(経営管理課長)

本市においては、この11月から来年の当初予算の編成作業に入っております。ぜひこの成果をスケジュールに間に合わせたいと思っておりますので、見守っていただきたいと思っております。

以上をもちまして、今年度の安城市事業仕分け委員会を終了いたします。

大変ありがとうございました。